

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年9月10日
【事業年度】	第12期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
【会社名】	株式会社みずほフィナンシャルグループ
【英訳名】	Mizuho Financial Group, Inc.
【代表者の役職氏名】	執行役社長 佐藤 康博
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目5番5号
【電話番号】	東京 03（5224）1111（大代表）
【事務連絡者氏名】	主計部長 植木 豊
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目5番5号
【電話番号】	東京 03（5224）1111（大代表）
【事務連絡者氏名】	主計部長 植木 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月25日に提出いたしました第12期（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

（自己資本比率の状況）

（参考）連結自己資本比率（国際統一基準）

（参考）当社グループのデリバティブ取引にかかる信用リスク相当額

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

1. 業績の状況

（財政状態及び経営成績の分析）

（1）総論

〔自己資本の状況〕

（5）自己資本比率に関する分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(自己資本比率の状況)

(参考)

<略>

連結自己資本比率 (国際統一基準)

(訂正前)

(単位：億円、%)

	平成26年3月31日
1. 連結総自己資本比率 (4/7)	<u>14.35</u>
2. 連結Tier 1 比率 (5/7)	11.35
3. 連結普通株式等Tier 1 比率 (6/7)	<u>8.79</u>
4. 連結における総自己資本の額	86,559
5. 連結におけるTier 1 資本の額	68,447
6. 連結における普通株式等Tier 1 資本の額	53,044
7. リスク・アセットの額	<u>602,874</u>
8. 連結総所要自己資本額	<u>48,229</u>

(訂正後)

(単位：億円、%)

	平成26年3月31日
1. 連結総自己資本比率 (4/7)	<u>14.36</u>
2. 連結Tier 1 比率 (5/7)	11.35
3. 連結普通株式等Tier 1 比率 (6/7)	<u>8.80</u>
4. 連結における総自己資本の額	86,559
5. 連結におけるTier 1 資本の額	68,447
6. 連結における普通株式等Tier 1 資本の額	53,044
7. リスク・アセットの額	<u>602,740</u>
8. 連結総所要自己資本額	<u>48,219</u>

(参考)

当社グループのデリバティブ取引にかかる信用リスク相当額は以下のとおりであります。

(訂正前)

種類	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
金利スワップ	8,225,671	5,862,256
通貨スワップ	1,905,850	1,959,620
先物外国為替取引	2,411,804	1,683,011
金利オプション (買)	176,242	169,976
通貨オプション (買)	534,976	369,151
その他の金融派生商品	<u>2,310,085</u>	<u>2,533,728</u>
一括清算ネットティング契約による 信用リスク相当額削減効果	△10,427,131	△8,210,573
合計	<u>5,137,498</u>	<u>4,367,172</u>

(注) <略>

(訂正後)

種類	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
金利スワップ	8,225,671	5,862,256
通貨スワップ	1,905,850	1,959,620
先物外国為替取引	2,411,804	1,683,011
金利オプション (買)	176,242	169,976
通貨オプション (買)	534,976	369,151
その他の金融派生商品	<u>2,221,354</u>	<u>2,503,670</u>
一括清算ネットティング契約による 信用リスク相当額削減効果	△10,427,131	△8,210,573
合計	<u>5,048,767</u>	<u>4,337,114</u>

(注) <略>

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1. 業績の状況

(財政状態及び経営成績の分析)

(1) 総論

[自己資本の状況]

(訂正前)

- ・平成26年3月末の連結総自己資本比率、Tier 1 比率及び普通株式等Tier 1 比率は、それぞれ、14.35%、11.35%及び8.79%となりました。

(訂正後)

- ・平成26年3月末の連結総自己資本比率、Tier 1 比率及び普通株式等Tier 1 比率は、それぞれ、14.36%、11.35%及び8.80%となりました。

(5) 自己資本比率に関する分析

(図表13) 連結自己資本比率 (国際統一基準)

(訂正前)

		前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)	比較
		金額 (億円)	金額 (億円)	金額 (億円)
連結総自己資本比率 (④/⑦)	①	<u>14.18%</u>	<u>14.35%</u>	0.17%
連結Tier 1 比率 (⑤/⑦)	②	<u>11.02%</u>	11.35%	<u>0.33%</u>
連結普通株式等Tier 1 比率 (⑥/⑦)	③	8.16%	<u>8.79%</u>	<u>0.63%</u>
連結における総自己資本の額	④	83,445	86,559	3,114
連結におけるTier 1 資本の額	⑤	<u>64,874</u>	68,447	<u>3,572</u>
連結における普通株式等Tier 1 資本の額	⑥	<u>48,038</u>	53,044	<u>5,005</u>
リスク・アセットの額	⑦	<u>588,235</u>	<u>602,874</u>	<u>14,638</u>
連結総所要自己資本額	⑧	<u>47,058</u>	<u>48,229</u>	<u>1,171</u>

総自己資本の額は、連結当期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比3,114億円増加し、8兆6,559億円となりました。一方、リスク・アセットの額は、前連結会計年度末比1兆4,638億円増加し、60兆2,874億円となりました。この結果、連結総自己資本比率は前連結会計年度末比0.17ポイント上昇し、14.35%となりました。

(訂正後)

		前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)	比較
		金額 (億円)	金額 (億円)	金額 (億円)
連結総自己資本比率 (④/⑦)	①	<u>14.19%</u>	<u>14.36%</u>	0.17%
連結Tier 1 比率 (⑤/⑦)	②	<u>11.03%</u>	11.35%	<u>0.32%</u>
連結普通株式等Tier 1 比率 (⑥/⑦)	③	8.16%	<u>8.80%</u>	<u>0.64%</u>
連結における総自己資本の額	④	83,445	86,559	3,114
連結におけるTier 1 資本の額	⑤	<u>64,860</u>	68,447	<u>3,586</u>
連結における普通株式等Tier 1 資本の額	⑥	<u>48,024</u>	53,044	<u>5,019</u>
リスク・アセットの額	⑦	<u>587,906</u>	<u>602,740</u>	<u>14,834</u>
連結総所要自己資本額	⑧	<u>47,032</u>	<u>48,219</u>	<u>1,186</u>

総自己資本の額は、連結当期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比3,114億円増加し、8兆6,559億円となりました。一方、リスク・アセットの額は、前連結会計年度末比1兆4,834億円増加し、60兆2,740億円となりました。この結果、連結総自己資本比率は前連結会計年度末比0.17ポイント上昇し、14.36%となりました。